

朗読する姿を撮影し、読み方を自分たちで確認

単元名「大造じいさんとガン」(5年)

守口市立下島小学校

ICT 活用のポイント

- ・児童自身の朗読の様子を映像に残し、自身の課題や朗読する力を把握する。

学習の流れ



① (本時まで) グループごとに朗読の映像をビデオカメラで撮影しておく。

② 朗読のポイントを確認し、ビデオカメラと電子黒板をつなぎ映像を見せる。

活用のポイント

- ・グループごとに映像を止めて、自分のグループ、他のグループの朗読の良かったところや課題をメモさせる。

③ 各グループのよかったところや改善点を話し合い、発表する。

④ 自分のグループ・個人の次回の目標を考える。

活用のポイント

- ・朗読の様子を保存しておけば、児童の読みの変化等、評価に活用できる。
- ・動画撮影可能なデジタルカメラがグループの数だけあれば、課題に対してグループごとの練習が可能となる。

使用する機器・教材等

ビデオカメラ、電子黒板 (または、デジタルテレビ、プロジェクタ)